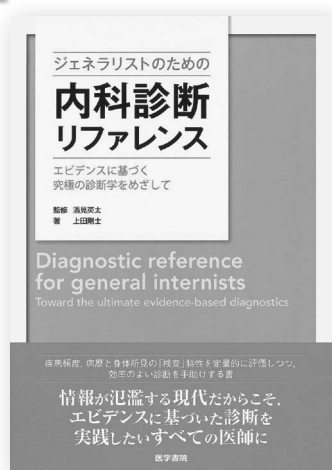


今月の特集関連本 ③



ジェネラリストのための内科診断リファレンス エビデンスに基づく究極の診断学をめざして

酒見英太＝監修

上田剛士＝著

本体 8,000 円＋税／B5 判・736 頁／医学書院／2014

上田剛士先生(p.1184、1264)が、本特集をご企画の酒見英太先生(p.1165、1176、そして本稿)を監修に、エビデンスに基づいた診断とは何かを追求した。疫学・病歴・身体所見・検査という診断学の一連の流れを網羅し、殊に病歴・身体所見を深く掘り下げた。リファレンスをあげて「多い／少ない」「大きい／小さい」という抽象的な説明でなく、極力具体的な数字を示して解説。診断に悩む症例に遭遇した際に、役に立つ。ジェネラリストにこそ求められる診断学として、内科診断のみならず整形外科、眼科・耳鼻科なども収載。